

南摩ダム、湯西川ダム、八ッ場^{やんば}ダム建設事業に関するアンケートのお願い

衆議院議員選挙を目前に、準備にお忙しいことと存じます。

私たちは、南摩ダム（思川開発）、湯西川ダム、八ッ場ダム事業の中止を求めて活動している市民団体です。八ッ場ダム問題はメディアにたびたび取り上げられるようになり、無駄な公共事業の代表例として耳目を集めるようになりました。全国的にも、熊本県の川辺川ダムや淀川水系の大戸川ダムなど、政治の力によって無駄なダム建設にストップがかかる事例が出てきております。

来る衆議院議員選挙でも、公共事業のあり方が重要な争点のひとつになると期待しております。

私たちが考える三ダムの主な問題点は次のとおりです。

1. 必要性への疑問

- (1) 利水面：栃木県水道の給水量は2000年代になってから確実な減少傾向になっています。節水機器の今後の普及と、将来人口の減少を考えれば、栃木県水道の給水量がこれからも減少していくことは必至です。
- (2) 治水面：南摩ダム、湯西川ダム、八ッ場ダムとも治水上の役割がわずかなものであることが明らかになっています。

2. 三つのダムがもたらすもの

- (1) 三つのダムはいずれもかけがえのない自然に大きなダメージを与えます。
- (2) 八ッ場ダム予定地は地質が脆弱なので、貯水池の周辺で地すべりを起すことが予想されます。

3. 県民の巨額の費用負担

三ダムの総事業費10,094億円のうち、栃木県全体の負担額は約496億円にも上り、起債の利息も含めると、県民の総負担額は約740億円にもなります。

当会は今回の衆議院議員選挙に当たり、候補者の方々に南摩ダム、湯西川ダム、八ッ場ダムについてともに考えていただければと、アンケートを行うことにしました。別紙の設問に対して、ご回答くださるよう、お願いいたします。

結果は、回答の有無も含めて、衆議院選告示前にインターネットで公開する予定です。

返送は8月3日（月）までに同封の封筒で投函するか、または、FAXでお願いします。

FAXの送付先 事務局長 伊藤武晴 ●●●-●●●-●●●●

南摩ダム、湯西川ダム、八ッ場ダムのそれぞれについてお聞きいたします。

別紙の設問に対して該当項目を選択し、○で囲んでください。

《単一選択》では該当する1項目のみを、《複数選択可》ではいくつでも選択してください。

本アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

南摩ダム、湯西川ダム、八ッ場ダム建設事業に関するアンケートの回答

I 思川開発（南摩ダム）に関して

1.（思川開発への関心度について）《単一選択》

あなたは思川開発事業に関心がありますか。

- イ 関心をもっている
- ロ 関心がない
- ハ 事実を知らない

2.（思川開発事業への意見）《単一選択》

進行中の思川開発事業へのあなたのご意見をお聞かせください。

- イ 思川開発は中止すべきだ
- ロ 思川開発は推進すべきだ
- ハ どちらか判断つかない

3.（設問2でイと答えた建設反対の方へ）《複数選択可》

思川開発反対の理由をお答えください。

- イ 水需要が減っていく時代になったので、思川開発の水源は必要ない（利水）
- ロ 南摩ダムは洪水を防ぐ役には立たない（治水）
- ハ かけがえのない自然環境を破壊する（自然）
- ニ ダム予定地の地域社会を崩壊させる（地域）
- ホ 税金の無駄づかい（税金）
- ヘ その他

4.（設問2でロと答えた建設賛成の方へ）《複数選択可》

思川開発賛成の理由をお答えください。

- イ 水道水源確保のために思川開発が必要（利水）
- ロ 治水のために南摩ダムが必要（治水）
- ハ 地元住民の生活再建のために思川開発を中止すべきでない（地元）
- ニ 景気対策のためには思川開発の建設工事を続行すべき（景気）
- ホ その他

II 湯西川ダムに関して

1.（湯西川ダムへの関心度について）《単一選択》

あなたは湯西川ダム建設事業に関心がありますか。

- イ 関心をもっている
- ロ 関心がない
- ハ 事実を知らない

2. (油西川ダム建設事業への意見)《単一選択》

進行中の湯西川ダム建設事業へのあなたのご意見をお聞かせください。

- イ 湯西川ダム事業は中止すべきだ
- ロ 湯西川ダムは建設すべきだ
- ハ どちらか判断つかない

3. (設問2でイと答えた建設反対の方へ)《複数選択可》

湯西川ダム建設反対の理由をお答えください。

- イ 水需要が減っていく時代になったので、湯西川ダムの水源は必要ない(利水)
- ロ 鬼怒川の治水対策上、湯西川ダムは必要がない(治水)
- ハ かけがえのない自然環境を破壊する(自然)
- ニ ダム予定地の地域社会を崩壊させる(地域)
- ホ 税金の無駄づかい(税金)
- ヘ その他

4. (設問2でロと答えた建設賛成の方へ)《複数選択可》

湯西川ダム建設賛成の理由をお答えください。

- イ 水道水源確保のために湯西川ダムが必要(利水)
- ロ 鬼怒川の治水対策上、湯西川ダムは必要(治水)
- ハ 地元住民の生活再建のために湯西川ダム事業を中止すべきでない(地元)
- ニ 景気対策のためには湯西川ダム建設工事を続行すべき(景気)
- ホ その他

Ⅲ ハッ場ダムに関して

1. (ハッ場ダムへの関心度について)《単一選択》

あなたはハッ場ダム建設事業に関心がありますか。

- イ 関心をもっている
- ロ 関心がない
- ハ 事実を知らない

2. (ハッ場ダム建設事業への意見)《単一選択》

進行中のハッ場ダム建設事業へのあなたのご意見をお聞かせください。

- イ ハッ場ダム事業は中止すべきだ
- ロ ハッ場ダムは建設すべきだ
- ハ どちらか判断つかない

3. (設問2でイと答えた建設反対の方へ)《複数選択可》

八ッ場ダム建設反対の理由をお答えください。

- イ 水需要が減っていく時代になったので、八ッ場ダムの水源は必要ない(利水)
- ロ 八ッ場ダムは洪水を防ぐ役には立たない(治水)
- ハ 脆弱な地盤にダムを建設すると災害の危険性がある(災害)
- ニ 吾妻溪谷などの自然環境を破壊する(自然)
- ホ ダム予定地の地域社会を崩壊させる(地域)
- へ 税金の無駄づかい(税金)
- ト その他

4. (設問2でロと答えた建設賛成の方へ)《複数選択可》

八ッ場ダム建設賛成の理由をお答えください。

- イ 水道水源確保のために八ッ場ダムが必要(利水)
- ロ 治水(利根川の氾濫防止)のために八ッ場ダムが必要(治水)
- ハ 地元住民の生活再建のために八ッ場ダム事業を中止すべきでない(地元)
- ニ 景気対策のためには八ッ場ダム建設工事を続行すべき(景気)
- ホ その他

5. (ダム中止後の地元再建について)《複数選択可》

1952年(昭和27年)のダム調査開始以降、八ッ場ダム予定地の住民は、ダム問題に翻弄され、経済的にも精神的にも疲弊し、地域社会は崩壊の危機に立たされています。将来展望が無いために、川原湯温泉の旅館は減り続け、地区外への転出が急速に進んでいます。住民はこうした状況の中で生活再建ができるのか不安に思っています。公共事業の是非を冷静に判断するためには、事業中止後の生活再建を支援する法律が必要です。

ダムが中止されることになった場合、地元住民にとってどのような手当が必要でしょうか。

- イ 地元住民を中心とした新たな地域再建計画(再生計画)
- ロ 地域再建事業への国と6都県の費用負担(費用負担)
- ハ 地元住民への生活再建支援金(個別補償)
- ニ 地元住民への精神的補償(精神補償)
- ホ その他